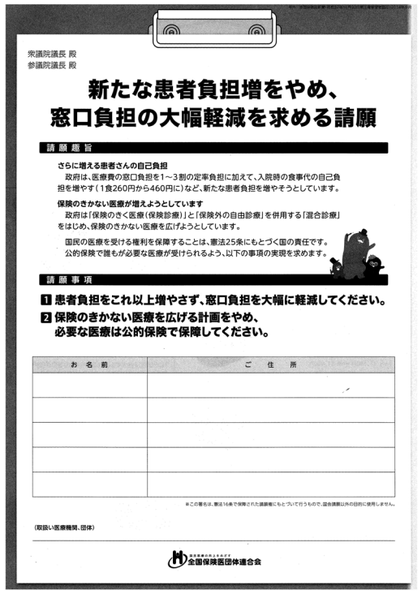
ストップ患者負担増

支部では 2,700 筆を突破！ 引き続きご協力を！

昨年から取り組むストップ患者負担増署名の到達が、現在到達は県下では 27,466 筆、支部では 2,702 筆（２月 20 日現在）となっている。

政府の新しい患者負担増計画では、現在の窓口３割負担に、定額負担を上積みすることや、入院時の食事代負担を増やすこと、漢方などを保険適応外にすることなどが狙われている。

協会・保団連は、国民医療の向上と、保険医療機関の経営を守る立場からこれらの計画に反対しており、「新たな患者負担をやめ、窓口負担大幅軽減を求める請願」に取り組んでいる。



衆議院議長 殿
参議院議長 殿

新たな患者負担増をやめ、窓口負担の大幅軽減を求める請願

請願趣旨

さらに増える患者さんの自己負担
政府は、医療費の窓口負担を1～3割の定率負担に加えて、入院時の食事代の自己負担を増やす（1食260円から460円に）など、新たな患者負担を増やそうとしています。

保険のきかない医療が増えようとしています
政府は「保険のきく医療（保険診療）」と「保険外の自由診療」を併用する「混合診療」をはじめ、保険のきかない医療を広げようとしています。

国民の医療を受ける権利を保障することは、憲法25条にもとづく国の責任です。
公的保険で誰もが必要な医療が受けられるよう、以下の事項の実現を求めます。

請願事項

1. 患者負担をこれ以上増やさず、窓口負担を大幅に軽減してください。
2. 保険のきかない医療を広げる計画をやめ、必要な医療は公的保険で保障してください。

お名前	ご住所

※この署名は、要請以外で保険のきかない医療費にもとづいて行うものであり、国会議員以外の目的に使用しません。

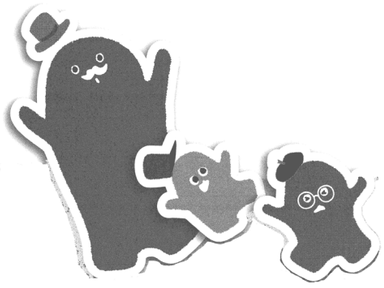
（取扱い医療機関、団体）

全国保険医団体連合会

協会では毎月国会要請行動を行い、兵庫県選出の国会議員に署名の紹介議員の要請や懇談を行っている。３月には姫路・西播支部からも支部役員が参加し、署名を提出する予定。

兵庫協会では県下で５万筆、支部では 6,570 筆を目標としており、さらなるご協力のお願いとして会員医療機関に協力のお願いと署名用紙、返信用封筒を再度送付している。

まずは院長ご自身とご家族、職員の皆さまの署名からご返送いただきたい。患者署名の署名用紙は追加注文をいただければ無料でお届けする。解説リーフレットやチラシ、ハガキ署名付きポケットティッシュなどの宣伝グッズも用意しているので、こちらもご注文いただきたい。



すでに署名を集め、返信をいただいている医療機関もあるが、一筆でも多くの署名を集めるために、引き続きのご協力をお願いしたい。署名の追加注文、お問い合わせは協会事務局まで。

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.210 2015 年 2 月 25 日発行

発　行　兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先　〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル 5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803　FAX/078-393-1802

姫路市子どもの医療費無料化

「求める会」無料化実施へ要望書提出
15 年度予算案で「中３までの無料化」盛り込まれる

（上・右）市民局長らと懇談、要望書を提出した

現行
０～２歳（所得制限なし）
３歳～小学３年生は 800 円（医療機関ごと　月２回まで）
小学４年生～中学３年生は２割負担

↓

新制度案
無料化を０歳～中学３年生に拡大
（０～２歳は所得制限なし
３歳～中学３年生は所得制限あり）

平成 27 年姫路市主要事業の概況より

姫路市は、２月 13 日に 15 年度予算案を発表した。子どもの医療費について、無料化の対象を０歳～中学３年生までに拡大すること（通院・入院共に０～２歳は所得制限なし、３歳～中３までは所得制限あり）が盛り込まれた。予算案は３月議会で可決・成立する見込みで、成立すれば７月より実施される。

2 面に続く―

1面の続き―

３月議会を前に、１月27日に「こどもの医療費無料化を求める会」が市の当局に要望書を提出した。支部としても昨年より会が取り組む「中学校３年生までの子どもの医療費無料化を求める署名」に協力していた。2カ月で１万5000筆近くを集め、市議会に提出し９月議会で全会一致で採択されたが、実施について具体的な情報は明らかになっていなかった。

今回、石見市長宛で「議会でしっかりと審議すること」、「中３までの医療費無料化をいち早く実現すること」を求める要望書を提出した。市民局長らと懇談し、「子ども医療費無料化の拡大の検討は、市長の姿勢として示された」などの回答を得た。

所得制限の基準は現段階では不明だが、支部としては市民が安心して受診できるように所得制限を設けずに制度を実施するよう、４月の市長選・市議会選挙に向けて候補者・会派アンケートを行う予定にしている。

春のいっせい地方選挙

姫路市長選候補者、市議選会派にアンケート

支部は、４月26日投開票予定の姫路市長選挙、市会議員選挙にむけて、候補者・会派アンケートを実施することを決定した。

市長選挙は各候補者（現在２名が立候補を表明）、市議会選挙では各会派（７会派）へアンケートを送付する。「子どもの医療費について所得制限を設けず実施すること」、「母子家庭医療費など姫路市独自の助成制度を導入すること」、「夢前町の産廃処分場建設問題について」などそれぞれどのように考えているかなどを中心に行っていきたい。

３月中を期限に回答を求め、結果は４月の支部ニュースで掲載予定。

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願いします。

お問い合わせは、TEL 078-393-1803 ＦＡＸ：078-393-1802

E-mail：arimoto@doc-net.or.jp　　担当事務局；有本まで

消費税問題学習会

「損税」解消は「ゼロ税率」で

吉岡先生がスライドで丁寧に解説

支部は、1月29日の幹事会終了後に消費税問題学習会を開催し支部幹事４人が参加した。「みんなで考えたい。消費税のこと。医療のこと。税金のこと。」をテーマに吉岡正雄協会副理事長が講演を行った。

吉岡先生は、消費税は所得の低い人ほど負担が重いことや、景気を落ち込ませる原因になることを説明し、昨年４月に８％へ増税されたことによって物価の上昇と消費支出の減少を引き起こしていることを明らかにした。

医療機関に発生する「損税」問題について、政府は診療報酬への上乗せで補填しているとするが、上乗せに大きく偏りがあるなどの問題があると指摘した。「税制の欠陥は税制で解決するのが筋だ」として、薬剤や医療機器の購入にかかった消費税を申告して還付を受ける「ゼロ税率」が適切な解決策だとした。

消費税増税が法人税の減税のためにすすめられてきたことや、財政難の原因は社会保障費ではないことを明らかにし、大企業の内部留保の一部を活用するなど、暮らしや内需を支える成長戦略が必要だと訴えた。

第269回支部幹事会より

1月29日(木)14時30分～　於　イーグレ姫路第セミナー室

参　加　４人

◆夢前町の産廃処分場建設問題、姫路市長選・市議選などについて議論が行われた。支部の今後の企画として、サ高住見学会、他科を知る会などについて確認された。幹事会終了後には消費税問題学習会（講師：吉岡正雄副理事長）が行われた。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。お問い合わせは、TEL 078-393-1803 ＦＡＸ：078-393-1802　E-mail：arimoto@doc-net.or.jp　担当事務局：有本まで